

学校教育相談推進資料

「子供の心が開くとき子供と心が通うとき」の改訂にあたって

平成16年3月に、当センターが、「学校教育相談推進資料『子供の心が開くとき 子供と心が通うとき』」を発行してから、3年が経ちました。

その間、発達障害者支援法が制定され、特別支援教育が一層推進されることで、発達障害に対する社会的な取組が進められています。

また、いじめが大きな社会問題になり、当センターとしても、いじめ相談ホットラインを創設し、相談の充実に努めているところです。

当センターに寄せられる相談内容も、そのような状況を反映して「発達に関すること」や「いじめに関すること」が増加傾向にあります。

そこで、今回目黒から水道橋への移転を機に旧版を見直し、「『いじめ』の理解と対応」と「発達障害のある児童・生徒の理解及び指導」という2つの内容を追補することにいたしました。

この冊子が、学校生活の中で、子供との日々の温かいかわりと、その積み重ねにつながり、役立つことを願っております。

平成19年3月

東京都教育相談センター所長 関 口 栄 一